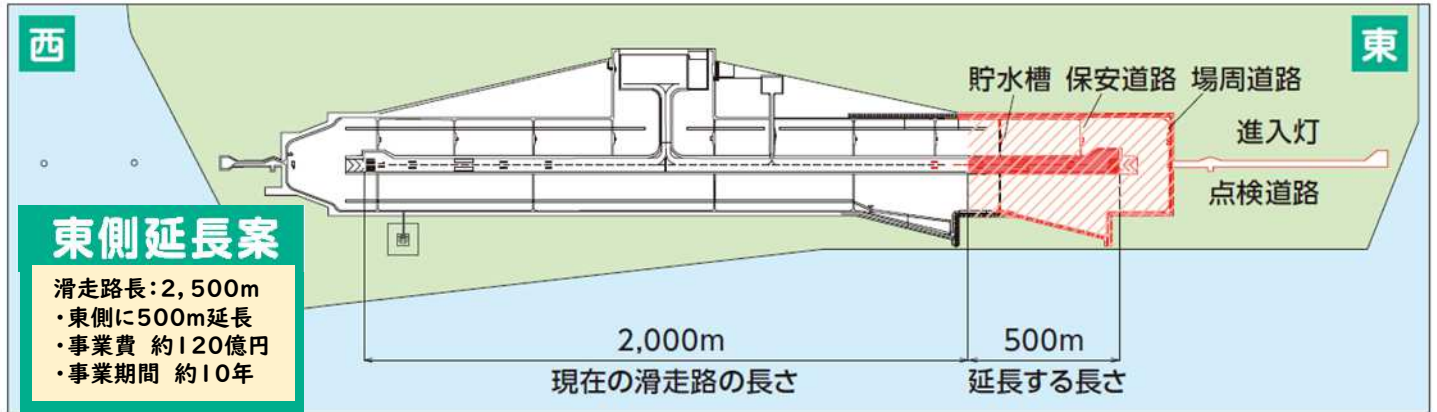


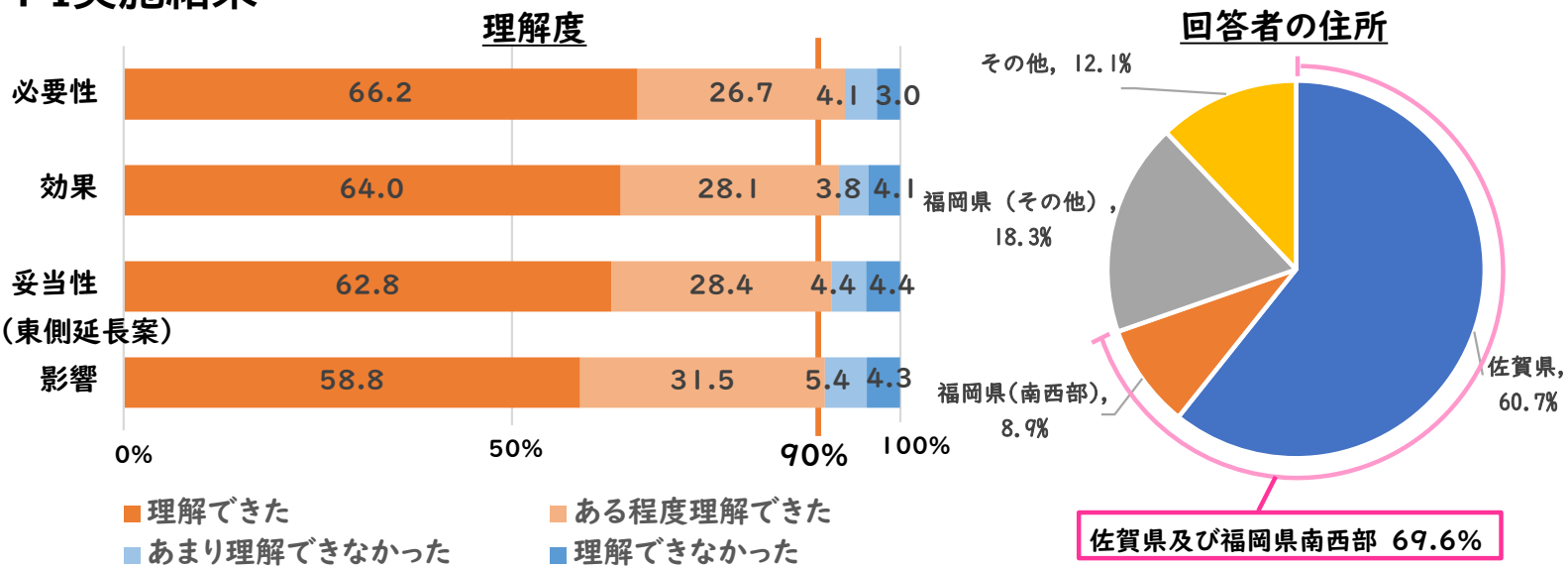
# 佐賀空港滑走路延長計画に関する PI実施報告書【概要版】

パブリック・インボルブメント(PI)活動(R5.11.1~R5.12.15)を実施し、佐賀空港の滑走路延長計画についての意見を募集しました。PI実施結果及びPI目標達成の判断結果は次のとおりです。

## 滑走路延長計画



## PI実施結果



・回答数：1,321件(自由意見の記載436件)

・9割以上が、「理解できた」、「ある程度理解できた」

## PI目標達成の判断

### 【実施目標】

- みなさんが佐賀空港滑走路延長の必要性や施設計画の妥当性に関する説明を理解し、不明点や疑問点が解消されること
- みなさんの意見を把握することで、事業主体である佐賀県が事業を円滑に実施できる状態になること

### 【判断結果】

九州佐賀国際空港PI推進協議会が多くの意見を把握でき、みなさんに滑走路延長計画をご理解いただいたことから、九州佐賀国際空港PI推進協議会は「PI活動の実施目標」を達成しており、「佐賀県が事業を円滑に実施できる状態である」と判断しました

※滑走路延長計画への自由意見(抜粋)は次頁

# 自由意見(抜粋)と意見に対する考え方

項目	寄せられた意見	意見に対する考え方
必要性	<p>滑走路延長に賛同する意見(123件)</p> <p>①滑走路を延長してほしい。            ②滑走路を延長して観光客が増えてほしい。            ③便数を増やすために滑走路延長は必要である。            ④福岡空港の補完空港として必要である。</p>	<p>①②③④            ご意見を踏まえ、事業化に向けて取組を進めていきます。</p>
効果	<p>地域の発展に関する意見(35件)</p> <p>①佐賀県の地域経済の発展が期待できる。            ②佐賀空港がもっと発展してほしい。            ③海外の観光客が増えてほしい。</p>	<p>①②③ご意見を踏まえ、事業化に向けて取組を進めていきます。</p>
妥当性 (東側延長案)	<p>施設整備に関する意見(59件)</p> <p>①滑走路は2,500m以上に延長すべきである。            ②平行誘導路の整備も必要ではないか。            ③エプロンやターミナルビルの拡張も必要ではないか。            ④ILS※を滑走路の両側に設置することは考えていないか。            ⑤工事の際に運航への影響はないか。</p> <p>※ILS:着陸する航空機に対して、滑走路への進入コースを指示する無線着陸援助装置</p>	<p>①ご意見を踏まえ、事業化に向けて取組を進めていきます。            ②今後、将来の見込みを立てていくこととしており、その内容も踏まえて検討していきます。            ③エプロンは平成31年(2019年)に、ターミナルビルは令和3年(2021年)に拡張しており、国際線・国内線ともに小型ジェット機2便の同時受入れが可能になっています。さらなる拡張については今後の状況を踏まえて検討していきます。            ④佐賀空港のILSについては国が管理しています。過去には現行の東側ILSに加え、西側ILSの設置について国へ提案しました。この提案に対して国からは、陸地での航空機の音が小さくなるよう、RNAV航法を用いて有明海側から進入する経路が新たに設定されました。            ⑤運航への影響が無いように十分に配慮をして計画を進めていきます。</p>
影響	<p>自然環境に関する意見(31件)</p> <p>①自然環境への影響が懸念される。            ②自然環境に配慮した施策を実施してほしい。            ③環境影響評価を適切に実施し、環境に配慮してほしい。</p>	<p>①②③環境影響評価の手続きの中で現地調査を行い、説明会を開催していきます。</p>

※自由意見は、件数の多い意見を記載